



特定非営利活動法人 隣の会

(鹿児島県鹿屋市) <https://www.rinnokai.org>

地域で介護や支援を必要とする多くの高齢者や障害者に対して、住民参加と助け合いの精神のもとに根差した活動を展開するため、1999年に設立された。介護保険法や障害者の日常生活および社会生活を総合的に支援するための法律、児童福祉法、生活困窮者支援法に基づく支援事業の枠に収まらず、高齢者や障害者の在宅を支えるさまざまな助け合い活動を展開している。

助成テーマ

高齢者弁当配食事業

【事業内容】

2012年からランチを提供した「ふれあいサロン川西」を毎月開催。歩いて参加できるよう、民家を借りて実施し、15名から20名の高齢者が参加していたが、新型コロナウイルスの感染予防のため、月1回の活動もままならない状況であり、高齢者の見守りや健康面での心配があったため、在宅で生活している高齢者を対象に、週1回、夕食のお弁当を作り、自宅に届けるサービスを実施した。

【事業の実績】

- 事業参加者：延べ1,058人
- 受益者数：870人
- 1回あたりの配食数：約30食
- 事業に関わるスタッフ・ボランティアの人数：延べ188人
- 1回あたりのスタッフ・ボランティア数：6~7人
- プログラムの実施回数：29回(毎週火曜日に実施)



【事業の成果】

食事作りをしているスタッフは、弁当を開けた時に喜んで美味しく食べてほしいと盛り付けを丁寧にするよう気をつけており、配食の利用者も楽しみにしている。配達スタッフと話ができるのも楽しみのひとつで、外出が難しいから嬉しいですとのこと。知り合いの方が弁当配達をしていることへの安心感も、高齢者の家族から寄せられている。配食が本当にできるか、利用者があるか等不安な部分も見られたが、備品が揃い準備が整ったことで、スタッフが配食弁当の意識を持つことができ、毎週欠かさず楽しく食事作りができている。

【今後の展望・課題】

- 弁当配食を週2回に増やして継続していきたい。
- 初の試みとして、別のサロンに出向いて食事作りサービスを行った。サロン利用者の皆さんと食事を準備できたことが、コロナ収束後の新しい活動に加わればと感じた。

<配食弁当の活動の可能性>

市高齢者元気度アップ・ポイント事業等の指定を受け、ボランティア活動の「配食弁当・野菜づくりのボランティア活動」において、野菜作りの活動も促していきたい。

弁当を作っている時に活動して頂き、楽しい交流の場とゆっくりとした時間の共有を図り、いきがいのある活動へと繋げていき、安心・安全な手作り弁当をこれからも広げていけるよう努めていきたい。